

サヨナラ原発福井ネットワーク

第7号 2014年2月25日

連絡先 越前市瓜生町 51-2-7 若泉方

Tel 090-7083-8921

Mail waka3@rk9.so-net.ne.jp

再稼働を前に、福井の状況を考える

若泉 政人

都知事選が終わり脱原発を訴えた候補は敗れました。選挙後、さっそく安倍首相は国会で「継続的に基準の見直しの検討を行っていく」「単に原子力機器や高い安全性を有する技術の提供を支援するだけでなく、制度整備や人材育成への支援も行っていく」と述べたのとのこと（2月10日NHK）。河瀬敦賀市長は、「舛添さんは政策が近い方なので良かった」、エネルギー政策への影響は「一地方選だが、あれだけ大きな街の選挙。ある程度影響はあると思う」と語りました（2月10日福井新聞）。原発を巡る大きな流れの変化を感じつつも、過半数の人々は原発再稼働を望まないという「声」を力に、これからは原発ゼロを目指していきたいと思います。

再稼働について、現時点で29項目ある新規制基準の適合性審査の内、関西電力の大飯3、4号機、高浜3、4号機は、26項目の書類が規制委員会に提出されています。2月10日に関西電力広報に尋ねましたら、書類は残りの3項目も揃っているが、不足など追加資料等を規制委員会に要求されて提出が完了してない状態とのこと。再稼働に向けた審査状況は一気に進む可能性があるという印象を持ちました。

1月28日には、福井県原子力安全専門委員会が6ヶ月ぶりに開催され、大飯・高浜の安全対策の状況や[高浜3号機の高経年化技術評価、もんじゅの高速増殖原型炉もんじゅにおける保守管理上の不備とその対応について](#)事業者から報告と委員からの質疑が行なわれ、特にもんじゅについて、中川委員長は「このままでは組織として全て駄目となるが、機構ももんじゅも研究成果は出ている。本来の原因は、権限と責任が明確でないところではないか」と指摘したとのこと（1月29日産経新聞）。もんじゅについては、私たちは昨年10月7日にIAEAと人材育成について、福井県が覚書を締結したことに対し抗議をし（もんじゅも大きく関わっている）、もんじゅの点検漏れに対する公開質問状を提出。11月19日に回答を得ましたが、県は、高速増殖原型炉もん

じゅ周辺環境の安全確保等に関する協定書（亜安全協定）「第2条 乙は、もんじゅの建設および保守運営に当たっては、周辺環境およびもんじゅ従事者の安全確保等のため、万全の措置を講じなければならない」に違反するのではないかという私たちの指摘に、違反しないと回答。もはや死に体の組織を必死でかばう異常さに言葉を失いました。

2月11日の福井新聞では、山本拓氏（自民党資源・エネルギー戦略調査会会長）が、「（高レベル放射性廃棄物の量などを減らす減容化研究を）高速増殖炉計研究よりも優先する」ことについて言及。また新たな「夢」を描き出して、これから閣議決定される「新エネルギー基本計画」に盛り込み、延命を図ろうとしているのではないかと推測します。

2月20日朝日新聞1面には「原発『重要電源』を維持」の見出し。記事には、もんじゅはこれまで通り研究を続ける方針を盛り込むと書かれています。もんじゅで減容化を進めることが成長戦略になると、高市自民党政調会長も2月16日のNHK番組で発言していました。

一方で大飯原発についても、再稼働に向けた審査が優先される可能性も出てきました。安倍内閣は強引に再稼働を押し切ると思います。

大飯と高浜の再稼働阻止ともんじゅを全面廃炉に向け、県外の方たちともつながりこれからは取り組んでいきたいです。

※上記福井県とのやり取りはインターネットの動画でご覧いただけます

「西川知事宛・もんじゅ点検もれと安全協定等に関する公開質問状への福井県の回答(2013.11.19/福井県庁)」
<http://youtu.be/5s6fERcdfes>

原発事故により埼玉県に避難をした井戸川さんがその自分の経験をかたり、福井県の皆さんに同じ思いをさせたくない思いが強いとのべられた。

日本国内ではちががあかないので、国連人権委員会に訴えた結果、日本政府に対して次の勧告が出された。1msv/年 以上の土地には住まわせない。被曝の健康被害調査を正しく行うこと。被害者を災害対策チームに入れなさい。仮設住宅に住まわせない。(4 畳半の部屋はこたつを一つ置くと後は通る場所しかありません。することが無いので老人は動きません)

双葉町は今でも 19 ~ 250 μ s v あるんです。とんでもないことです。甲状腺被害ばかりではありません。ぶらぶら病、白内障、老化が早い等があります。子ども達が心配です。

福井県知事につたえたいこととして
原発事故は恐ろしい。責任は立地住民に押しつけてい

る、隠蔽とねつ造に税金を使っている、福島県の被曝隠しはひどい。福井県民に伝えたいことあなたは東電の事故に税金を払っている。徐染に協力させられている。原発の維持の為の負担をしている

福井県民に伝えたいこととして
絶対に放射線を出させない。ヨウ素剤を必要とさせない。1.59 μ S v / h 爆発前に双葉町民は浴びていたんです。時間あたりですよ。これほど危険な事はありません。今は 放射能がもれても 20 ミリシーベルトでもいいといっているんですよ。事故後の担保に 10 兆円を一時金として供託させなさい。事故後の放射能被害の弁済を確約させる。などをあげられました。

(詳細はぜひ 当会ホームページから動画をご覧ください)

市民と語り合う越前市原子力防災計画

越前市出前講座

2014 年 2 月 8 日 (土)

これで大丈夫? 自治体と市民が語り合う「越前市原子力防災計画」(2014. 2. 8 / 越前市)

動画がご覧になれます

http://youtu.be/rmyvvRX-_6Q

1 「越前市原子力防災計画」の概要説明 越前市防災安全課長 鎌谷 武美氏

越前市は 原子力事業所から 30Km 県内にあるので UPZ 関係市となる。県内避難は坂井市とあわらし市であり県外避難は石川県小松市と石川県能美市である。

空間線量が 500 μ s v / h になって 時間ごとに区域を指定して即時避難。空間線量が 20 以上 500 μ s v / h では 一時移転と指定されている。

2 市民版「原子力防災マニュアル」の説明 若狭ネット 事務局 山崎隆敏氏

自治体の防災計画に従うか、自主避難かと言う点から問題提起がされました。

====参加者の声====

当日私は受付を担当しましたが、後ろの方は音がぼやけると参加者が結構ボチボチと入ってこられるので残念ながら話の方はいまいちでした。この計画を進めて行けばできないことがわかるからという越前市在住の方の言葉や、万が一そういう事態が起こった時には「親は迎えに行かず、学校単位で避難する」という山崎さんの言葉にはごもつと。しかし 2013 年に行った風船飛ばしの結果を見ると、避難先に 3 つも書いてある岐阜県には 1 時間で風船が着いたし、茨城にも 5 時間で、また京都には放射能の中を通らないと道がありません。せめてもっと現実に即したものができないかと思いますが、何万という人が即時に移動するという事は不可能ということがわかり、結果、動かせないのが一番の防災ということがよくわかります。こういう講座こそ各地区で開くべきです。

大瀧由紀子

大飯・高浜原発の再稼働をやめてください！



若狭という狭い地域に15基もの原発が密集し、原発銀座と呼ばれる福井が、福島の大惨事を繰り返すことを恐れています。豊かな福井の大地・海が放射能で汚染すれば、暮らしは成り立ちません。原発事故の際の避難計画も疑問だらけです。

若狭の直ぐ近くには関西の水がめである琵琶湖があり、その命の水にも責任があります。福島を教訓とし、福井が被害者にも加害者にもならないように再稼働を絶対にやめてください！

[私のひとこと]



住所 ()
名前 ()

再稼働反対ハガキ

福井県知事、大飯町長、高浜町長、関西電力などに抗議ハガキをだそう。

ただ今「大飯原発を止めて」キャンペーンを全国展開中

ハガキ3枚+抗議宛先一覧 が1セットです
お問い合わせは

090-7083-8921 若泉

waka3@rk9.so-net.ne.jp

金額 ハガキ代金 + 送料100円です

口座記号番号 00780-9-40314

3月16日(日)
美浜からみんなで風船をとばそう！



3月11日を中心に全国の原発立地から、原発事故の際に放射能がどの様に流れるのかを調べるために、一斉に風船を飛ばします。福井の原発からも風船を飛ばします。2年前に飛ばした時は、6時間弱で群馬県・茨城県など関東にまで飛んでいきました。

今度はどこ方面へ飛ぶのかな?・・・あなたのメッセージは誰の元に?・・・ 皆さんと一緒に飛ばしませんか。

飛ばす日時 : 3月16日(日)12時

場所 : 美浜町・水晶浜

テント張り、風船の用意、メッセージハガキを付けたりの作業に2時間程かかります。定刻に飛ばすには人数が必要です。是非ご協力をお願いします！**ご協力頂ける方は10時水晶浜**

に来て下

3 月以降の行事 福井

3 月 9 日 メモリアルアクション 鯖江市文化ホール
 原発のない新しい福井へ
 広瀬隆, 秋山豊寛, 山本太郎, 木田 節子 (福島県)
 斎藤 征二 (元原発労働者) のみなさんの挨拶

3 月 16 日 風船飛ばし 水晶浜 午前 10 時現地集合
 3 月 16 日 東日本大震災 3 周年記念追悼会 真宗大谷派

3 月 21 日 (祭) 美山の里開き 福井市中手町 16-25 萌叡塾

2013年(会計年度は1月～12月)度会計報告			
支 出		収 入	
講演会・催し支出 (会場費・講師謝礼・交通費・チラシなど含む)	235,091	前期繰越金	227,648
団体賛同・会費(福井集会賛同費・再稼働阻止ネット年会費など)	47,166	会費・カンパ	434,800
県外出張旅費・諸経費(全国阻止ネット会議・規制庁要請・伊方集会)	60,584	講演会収入	164,900
事務・会議費・備品 (ゴム印・文具・会議場費・トラメガ)	31,410		
通信諸経費 (通信用紙代・封筒・印刷代・コピー・宛名シール等)	6,936	収 入 計	827,348
通信送料 (メール便・郵送便)	66,380	－ 支出金	447,567
支 出 計	447,567	次年度繰り越し金	379,781
		会 計	(中嶋)
今年度の会費納入のお願い			
2013年も皆様の会費・カンパにより、広瀬隆氏はじめ幾つかの講演会やアオッサでの脱原発示会、全国との会議・他県の集会に参加する等、様々な活動ができましたことを、心より感謝致します。又、多額のカンパをして下さった方々にも熱く御礼を申し上げます。今年は原発再稼働を阻止するために更なる活動が必要になります。今年も会費の納入を宜しく願います。振込用紙を同封しました。			
年会費は(1月～12月分)1000円です。余裕のある方はカンパも願います。			
郵便振替口座:00780-9-40314 加入者名:サヨナラ原発福井ネットワーク			

編集後記

フクシマ原発事故 3 周年を控えニュースを発行しましたが、4 頁の簡単なものになりました。

大飯、高浜の再稼働を前にして、なんとしても阻止すべくいろいろな方策を練っています。越前市の原子力防災計画の講座に参加してみて、市民 8 万人の避難は並大抵のものではない、人も、金も、時間も費やし、それでも被曝は避けられないことがよくわかりました。

寒い中、毎日の県庁前のランチタイムアピールと金曜デモが会員などによって続けられています。2 月 25 日で商業用原発停止 159 日となります。(こまっちゃん)